

広 報

# ふじがわ

### 町のメモ

昭和57年9月1日現在	
人口	16,958人
増減	-4人
男	8,387人
女	8,571人
世帯数	4,313世帯
面積	31.09km <sup>2</sup>

富士川町 企画開発課

9月号

昭和57年9月20日発行

No. 254



町の今年の目標  
「笑顔であいさつ明るい町に」

早くソバ食べたいな

(表紙の言葉2ページに)

# 私たちの町は住みやすくなっただろうか

## 昭和56年度の環境データから 当面している公害問題を探る

私たち人間が健康で快適な生活を送るためには、きれいな空気や水などの自然を始めとする豊かな環境が不可欠です。そのためには私たちを取り巻く環境を、ふだんから守り育てていく努力が必要ではないでしょうか。総理府が二千四百二十六人を対象に行った「公害に関する世論調査」によると、公害の解決

方法として七九割の人が「各自が他人に迷惑がからないように気をつける」と答えているようですが、さて富士川町の場合はどうでしょう。今月の広報「ふじかわ」では、私たちの町の環境について、みなさんに紹介したいと思います。以下は昭和56年度中の数値です。

### 空気の汚染は 自動車の排ガス

まず、昭和56年度中に町へみなさんから寄せられた公害苦情をみますと——大気汚染一件、騒音四件、濁二件、土壌汚染一件、騒音四件、振動一件、悪臭四件の計十三件となっております。また、これを昭和55年度と比較すると、左表のように総数で昭和56年度が六件増加、さらに詳細では、騒音・振動・悪臭など感覚的・心理的被害をとも

なう苦情が昭和55年度五件に対し昭和56年度には九件と増加しています。大気を汚染する物質には、工場で使用している重油などの燃料が燃焼した時に排出される硫黄酸化物や一酸化炭素・浮遊粉じんなどがあります。ここでは、その中で昭和56年度に基準を超えた浮遊粉じんと光化学オキシダント・二酸化窒素について話してみます。

この内、比較的粒子の大きいものは、鼻やノドに付着し、たんや鼻汁として体外に放出されますが、粒子の小さいものは肺へ沈着するといわれます。これについては、基準が一時間値で〇・二mg/m<sup>3</sup>以下で、一日平均値が〇・一mg/m<sup>3</sup>以下となっておりますが、第一中学校・役場測定局とも基準を超えています。

当日は、まず子どもたちがなれた手つきで草取りを行いその後、保母さんたちが畑を耕やし、きれいになった畑に四、五歳児の子どもたちが保母さんから分けられたソバの種をいねいに数個ずつまいていた。

公害苦情の過法9年間の推移

項目	年度	48	49	50	51	52	53	54	55	56
大気汚染	ばい煙	5	1	2	1			4	1	1
	粉じん	1				1	2	1		
水質汚濁	濁	9	2	3	1	1	2			2
	汚染					2			1	1
騒音	音	4	4	3	1	4	5	3	4	4
	振動	1	1	1	2	4	1			1
その他	悪臭	3	2	1	2	1	4	1	1	4
	その他	1								
計		24	10	11	9	11	14	9	7	13

と、自動車から排出される窒素酸化物や一酸化炭素・浮遊粉じん、そして二次的に生成される光化学オキシダントなどが、ありまます。ここでは、その中で昭和56年度に基準を超えた浮遊粉じんと光化学オキシダント・二酸化窒素について話してみます。

第一中学校測定局 〇・〇九五mg/m<sup>3</sup>、役場測定局 〇・一〇二mg/m<sup>3</sup>、国一・富士川橋交差点 〇・二〇二mg/m<sup>3</sup>、となつています。

子どもたちは「こんどの運動会には、あそこの落花生をみんなで食べるんだ。そしてお正月が近くなったら、このソバで手打ちソバを作って、みんなで食べるんだよ——」などというれしそうに話していた。ちなみに、同園のソバ作りは今年で二年目だそう。

### 春のソバ

北松野保育園の子どもたち三十一人は、9月3日、同園近くの休耕田でソバの種まきを行った。この休耕田は、清水町の久保田勝夫さんから無料で借り受けたもので、面積は約二百平方メートル。中には、すでに同園で里芋や落花生などが栽培されており、今回種まきを行った所は、先に子どもたちが立派なトウモロコシの収穫を済ませた約八十平方メートル。

六mg/m<sup>3</sup>、根方交差点 〇・三七四mg/m<sup>3</sup>、儘下交差点 〇・三二三mg/m<sup>3</sup>——となりまました。この調査結果から、県道富士川—身延線の粉じんは、ダンプトラックからこぼれた土砂などの破さい物が主要発生源と考えられますし、国道一号线や県道沿線では、第一中学校や役場測定局に比べて二〜三倍の濃度になっていると想像されます。

- 町内の各交差点で測定すると——
- ①旭町交差点 平均が〇・〇五七mg/m<sup>3</sup>、最大が〇・〇七八mg/m<sup>3</sup>
  - ②国一・富士川橋交差点 〇・〇五二mg/m<sup>3</sup>、〇・〇六〇mg/m<sup>3</sup>
  - ③駅前交差点 〇・〇四九mg/m<sup>3</sup>、〇・〇六三mg/m<sup>3</sup>
  - ④幸町交差点 〇・〇四四mg/m<sup>3</sup>、〇・〇五六mg/m<sup>3</sup>
  - ⑤原方交差点 〇・〇四一mg/m<sup>3</sup>、〇・〇五四mg/m<sup>3</sup>
  - ⑥小山交差点 〇・〇四〇mg/m<sup>3</sup>、〇・〇四九mg/m<sup>3</sup>
  - ⑦木島・バイパス入口 〇・〇三九mg/m<sup>3</sup>、〇・〇五二mg/m<sup>3</sup>
  - ⑧南松野バス停交差点 〇・〇三六mg/m<sup>3</sup>、〇・〇四九mg/m<sup>3</sup>
  - ⑨儘下交差点 〇・〇三五mg/m<sup>3</sup>、〇・〇四二mg/m<sup>3</sup>
  - ⑩根方バイパス入口 〇・〇三二mg/m<sup>3</sup>、〇・〇三八mg/m<sup>3</sup>

水は同橋より下流で富士川に合流しています。そこで、蓬来橋と国一富士川橋、富士川河口(国一バイパスの下流三百メートル)で測定したBOD(生物化学酸素要求量・基準では二mg以下)の結果をみますと——蓬来橋 〇・九mg/l、国一富士川橋 一・四mg/l、富士川河口 四・四mg/l

もご存知のように石油製品の界面活性剤を主剤に、洗浄力向上に少量のリン酸塩が含まれています。そこで界面活性剤とリンの測定結果をみますと、界面活性剤は蓬来橋で〇・〇一mg/l、国一富士川橋で〇・〇二mg/l、富士川河口で〇・〇四mg/l、リンは蓬来橋で〇・二〇mg/l、国一富士川橋で〇・一九mg/l、富士川河口で一・六七mg/lとなっております。なお、町内の河川や用水・下水路の測定結果は左表のとおりです。

国1・県道交差点の騒音状況

交差点名	測定時	測定値			
		朝	昼	夕	夜
旭町	朝	67	70	68	50
富士川橋	朝	67	71	67	55
根方(バイパス入口)	朝	65	69	58	47
儘下	朝	64	70	63	49
基準	朝	65	70	65	55

### 国道沿線に 騒音が集中

この原因を探るためには、工場排水と家庭排水を区分してみなければなりません。まず工場排水については、町内の各企業が昭和47年から「奥駿河湾水域に関する上乗せ排水基準」の適用を受け、また富士川上流の企業では工場排水を潤井川に排出していますが、やはり家庭排水に比べて排水量が多いため、富士川の汚濁原因の七割を占めています。では家庭排水は

現在、一番問題になっているのが、この騒音・振動・悪臭などの公害で、公害の総苦情件数の約七割を占めています。また、みなさんが訴えた苦情発生源は——

- その他 一件  
振動 一件  
一般道路 一件  
悪臭 一件  
畜産・缶詰製造工場・クラフトパルプ製造工場・化学工場・し尿処理場など 四件

### 合成洗剤も 富士川を汚す

つぎに、水質汚濁についてみることにしましょう。

町内の河川や用水・下水路は、最終的にすべて富士川に合流しています。しかし、北松野蓬来橋より上流には河川は少なく、また松野地区から上町(一部)までの排水は国道一号线富士川橋より上流で、そして岩淵・中之郷地区の排

水は同橋より下流で富士川に合流しています。そこで、蓬来橋と国一富士川橋、富士川河口(国一バイパスの下流三百メートル)で測定したBOD(生物化学酸素要求量・基準では二mg以下)の結果をみますと——蓬来橋 〇・九mg/l、国一富士川橋 一・四mg/l、富士川河口 四・四mg/l

合成洗剤による汚濁状況

川名	界面活性剤	リン
小池川	0.68	1.12
都市下水路	0.35	6.74
旭町下水	0.82	0.72
中之郷用水	0.66	1.02
坂下下水	1.80	1.29
吉津川	0.05	0.48
田中沢川	0.12	0.31
血流川	0.02	0.16
中河原川	0.10	0.27
有無瀬川	0.07	0.29
山田川	0.12	0.34

とところで、この中には出てきませんが、国一の交通渋滞や県道富士川—身延線のダンプトラックによる騒音公害はどうなっているのでしょうか。最後に、これについて、右表で町内四カ所の交差点の測定結果をみますと、特に目立つのは、松野地区の二交差点が基準以下にあるのに対し、国一富士川橋交差点では朝・昼・夕が、旭町交差点では朝・夕が基準をオーバーしているということです。

今月のテーマ

広報ディスカッション  
私のおいしい料理

日々気取らずに

家庭の味に挑戦

中沢 岩達陽子(38)

何もおいしい食欲・味覚の秋に、特におすすりといえませんが、ごく一般的なものを紹介します。落と卵の五目あんかけ、酢と塩を入れ煮たてた湯をいったん火をゆるめ、煮たちを静ませた中に卵を割り入れ、適当な固さにゆであげる。豚挽肉・しょうが・人参・しいたけ・筍・玉ねぎ・ピーマンを順に炒め、ゆるめの甘酢あ



提言者  
常盤孝子さん

わが家は今、食べ盛り、育ち盛りの子どもたちで、食事の世話に追われています。主人はだんだんあつさりした食事を好み、子どもたちはいわゆるフライパン料理を希望し、別々につくることもしば

んを流し入れ、卵の上になつぷりかけて食卓へ。卵の白と五目あんの色がとてもきれいです。その場に七目でも八目でも、子どものあまり好みとしないものも、色どりの良さについていいね。もう一つは、どなたも一度は作ったことがあると思います。秋の代表サンマのかば焼き、作りたてが一番です。三枚におろした身に小麦粉をまぶし、フライパンに多めの油を入れ、両面こげ目がつく程度に焼きあげ、油を除いたフライパンに、だし汁少々・みりん・

豆乳の作り方  
オカラの利用法

富町 池田てい(53)

砂糖・しょうゆを入れ煮たて、サンマを平に並べ入れ適当に返して味をからませてください。しらがねぎを上に載せて——家族の「今日は何?」「おいしかったよ」の一言に気を良くし、日々気取らず家庭の味に挑戦しています。

しばです。物価高の折、経済的にボリュウムがあり、子どもたちが喜ぶものと考えています。特に、その中では「つつみ卵」が好きです。材料はゆで卵を豚挽肉に玉ネギのみじん切りをまぜたものをつつみ、油で揚げます。その時、挽肉の中に味噌を少々入れれますと、肉のくさみがぬけ味もつきます。もう一つ、これはお年寄りにも好評です。とり肉のササ身にベー

作り方は、ジャガ芋をゆでて皮をむき、つぶし、挽肉・みじん切りにした玉ねぎ・人参・しいたけ・いんげんなどをマージリンで炒め、塩とこしょうで味付けし、つぶしたジャガ芋と卵、牛乳を加えてまるめやすい硬さに整え、俵形かだ円形にまよめ、中心に角切りしたチーズを一個ずつ入れる。小麦粉と黄み、パン粉の順にまぶしてタッパーにならべる。味付けの時にナツメグをきかせたり、パプリカにしたり、コーン缶も入ったり、挽肉をあり合せのカニ缶に変えたりし、味の変化を楽しんだりします。

経済的な

スタミナコロッケ

坂下 望月美生子さん(34)

我が家は、祖父母から保育園に通う娘まで、幅広い嗜好の違う食事形成です。その中で、経済的にできて栄養も豊富なコロッケは、子どもたちに特に喜んで食べてもらえます。自家製のジャガ芋を使い、残品野菜の整理もでき、作る楽しさもあります。一度に約四十〜五十個できるので、冷凍してストックしておきます。突然の来客でも、エビフライや串カツなどに付け合せ、生野菜の青・トマトの赤・レモンの黄——というように盛り付けに工夫すると、子どもたちも色どりにつられて食欲おう盛です。

中華ナベ

焼豚料理

小山 植松友子さん(25)

我が家は大人四人、高校生二人の六人家族です。毎日、会社勤めから帰ったの食事の仕度はとても忙しいけれど、家族が喜んで食べてくれると、一日の疲れも忘れてしまいます。ここで紹介する「焼豚」は、豚も肉のプロックを約一\*求め、大きめなボールに、しょう油・酒・みりん・しょうがの薄切り、そしてかくし味に砂糖を少々入れ、豚肉を約三切れに切つて、どつぷりと一夜つけこみます。少し多めの油を中華ナベに入れ、豚肉だけ

ミキサーでこし、水とともにこし布袋に入れしぼると豆乳とオカラができます。豆乳は沸騰寸前に火を止める、青臭さが気になる人は牛乳で割って飲むと臭みが気になります。オカラ オカラに卵一個、つなぎに小麦粉少々、バニラエッセンス一摘、それに好みに応じて砂糖・塩少々を入れ、牛乳を加えながらよく混ぜ合せまよめやすい固さにする。あとはフライパンで焼くだけです。少しほそつく感じはありますが、煮物を好まない子どもたちに、一度オヤツ代わりにお試しください。

秋から冬には

おでんと手打ちソバ

小池 志村夫佐子さん(33)

秋から冬にかけて、我が家の日曜日の昼の食卓には、おでんと手打ちソバが出る事が多い。おでんの材料としては、モツ・大根・昆布・竹輪・はんぺん・里芋・こんにやくなどです。栄養的にもバランスがとれ、経済的で、酒の肴に子どもたちにも、お客様にと喜んで食べてもらっています。モツはお肉屋さんから買ってきたものをそのまま使わず、一度湯がくと、臭いがいやだという人でも、食べられるようになります。それぞれ下ごしらえをし、汁は、このごろで

まんじゅうとスープ

自家製野菜

東町 二木田しんさん(77)

屋上に魚屋さんからいただいたハツボウスチロールの大箱を利用して野菜畑を作り、いろいろな野菜を栽培しています。その自家製野菜を使った二品を紹介します。まず一つ目は、トマト嫌いの子ども大丈夫な「トマトジャム入りまんじゅう」。真っ赤に熟れたトマトでジャムを作り(トマト五、砂糖を湯のみ茶わん約一杯)、小麦粉でまんじゅうの皮を作り、トマトジャムを入れてふかす。トマトの匂いがなくおいしくいただけます。つぎにスープ。大豆(二合)を朝水にひやし、夕方充分に水をすった大豆を湯のみ茶わん約一杯半の水と一緒にジューサーでつぶしそれを煮たせ、ふきんでこし、しぼつてカスを取る。そのしぼつた汁の中に牛乳を足してもう一度煮たせ。好みに合せて砂糖約大さじ一杯半、塩少々を加える。夏は冷たく冬は暖めて飲むといいです。大豆二つかみで約五合のスープができます。ニンニク一粒を焼いてスープを飲みながら食べると絶対に風邪をひきません。ニンニクの匂いが残らず、とても効果的です。風邪をひきやすい人は是非お試しください。

子どものころ、私は本好きな女の子だった。童話、神話、名作、偉人伝——手当たり次第むさぼるように読んだ。小学校五年の時、推理小説やSF(空想科学)小説に熱中し、毎週土曜日の本貸出日には必ず二冊の本を貸り「江戸川乱歩」や「月世界探険」などに胸躍らせた。中学になつて長姉の勧めで読んだパールバックの「大地」では開拓農民のその力強い生き方に感動もした。しかし、年とともに読む本の数も減り、結婚し子育てに追われていたころは本とは縁遠くはなつていた。いま、子どもも手が掛からなくなり、また本を読む時間は取りもどせなければ、床についてから読む本はいつしか子守歌になり「バス」顔の上に落とすこともたびたびで、夜が白むまで読んだ昔を想い出し、一人苦笑する。そんな中で子どもは

10月のテーマ  
私が出あった一冊の本

ろ読んだ名作がアニメ化され、テレビ放映される少年時代の自分とがとも懐しく重なる。活字から脳にしみ込んだ物語は何かの折、鮮かによみがえるらしい。活字離れといわれるいま我が子にも一冊でも多くの本を読み、心の糧とし、生涯の良き友としてほしいものである。時候は秋、さあ、あなたも今夜はテレビのスイッチを切り、虫の音を耳に、秋の夜長を本と親しんでみませんか。  
大楽窪 曾我 久子さん



- ◎10月のテーマ  
私が出あった一冊の本
- ◎対象者  
読書好きな人ならどなたでもかまいません。
- ◎字数  
四百字づつ原稿用紙一枚以内。
- ◎締切り日  
10月6日(水)まで
- ◎投稿先・問合せ先  
富士川町役場・総務課
- ◎注意事項  
匿名者の原稿は掲載いたしませんからご了承ください。

# ママさん記者が取材中

## ～富士川町体育協会～

9月2日に富士川町体育協会の久保田幸男会長にお会いし、役員三階の会議室でお話をうかがいました。

体育協会は全町民を対象として構成されており、その中から会長および常任理事・理事など約六十人ももって組織されています。現在、陸上・卓球・野球・ソフトボール・剣道・バレーボールの六部がそれぞれの区対抗大会を中心に町民の間へ根強く浸透し活動しており、また「健康で明るい町づくり」を目標に行われている町民体育大会にも、中心的な存在となつて参画し活躍しています。今年度も、10月10日に開催される町民体育大会には「自主的参加」各地区的積極的な参加——これらのことを体育協会では望んでいるとのことでした。

近年、町民のスポーツに対する関心は、余暇の増大により急速に高まりつつあるようです。種目はソフトボール・バレーボール・

テニスからジョギング・トリム運動など多様で、それぞれの趣味をかねたスポーツを楽しみながら自己の健康づくりに励んでいます。そして、個人で楽しむスポーツの域を脱して、部落ぐるみ、町ぐるみのスポーツにも発展してきています。なお、各区で毎年行われている区民体育大会には、町からも奨励として助成金がわずかながら出されているそうです。特に新興住宅地については、住民との「和」を作るためにもスポーツが必要ではないでしょうか。

つぎに、体育協会の歴史を振り返つてみると、昭和30年ころのスポーツは、小・中学校の運動会に事業所・各種団体が参加したり、青年団の行う陸上競技大会や事業所対抗の野球大会くらいのもので、統一した行事計画のない状態でした。このころから体育協会設立の気運が高まり、当時の青年団や町内スポーツ愛好者の大きな努力により、富士川町と松野村が合併したのを機会に、昭和32年7月に発会式を行い、体育協会の設立をみたそうです。その直後の当町は、町民体育大会を中心に野球・柔道・卓球・剣道・バレーボールなどの競技が活発に行われていました。そんな功績が認められて、昭和35年には全国の町村でも逸早く文部省から大臣賞を、昭和36年



久保田会長と天野・植松両モニター

には静岡新聞スポーツ賞を受けるなど、多くの功績を残してきました。このように、当町の町民ぐるみの体育振興は、県下でも模範となるようなすばらしいものです。

最後に久保田会長は、これからも町民体育大会と現在活動している六部の種目を中心に事業を進めていく他、多くの種目のスポーツグループを包含して部の設立に努力し、スポーツ人口の拡大をはかっていきたいと語っていました。そのために、私たちが各各地区でスポーツを行なう場合、指導者や審判員が必要になったり、ルールなどわからない時には、気軽に体育協会事務局である教育委員会の社会教育係に連絡していただきたいとのことでした。

広報モニター 植松ゆみ子

# 社会教育からの提言

## 親から子への遺産

核家族化社会といわれ、現代の家族構成なり親業のあり方が批判されてから久しいが、親から子へ、子から孫への遺産について私たちが「親」の立場にあるものが、今一度真剣に考え直すべき時ではなからうか。少なくとも金や物が絶対で、子どもの欲求は、ことごとくこれらによつて満足させられている傾向は断じて廃除していかねばならない。

それでは親から子へ伝えるもので忘れてはならないものは？と問われた時、周囲の世情、時の話題を総合してみても、勤労・勤勉・奉仕・節約・自主独立など、かつての修身を彷彿とさせる言葉を想起する。それだけにこれからは生きる子どもたちには、予想される多くの苦難が待ち受けているともいえるのだ。が、残念なことには日本の教育構想の中に（学校・家庭・社会・教育を含めて）これらについて的確たる指導指針はない。

修身（自ら身を修める）は生きていく以上、誰しも追求しようとしていることである。だから、単に古いことだとか、昔

核家族の「核」——辞書によれば、細胞の中にあつて遺伝のはたらきの中心をなすものとなる。さすれば、たとえ懸念される核家族社会であっても、親の考え方が確かでさえあれば子は立派に親の精神を受けつぎ、次の世代を生きぬく保障を確保することにもなる。

のできごとだというイメージでとらえてはならない。現代のように生活すべてにおいて簡便化されている時代にこそ、親は意識し、生活の場で、子どもに自ら身を修める機会を与えるべきではないかと思う。

しかし、現実には、子どもに精神的な鍛錬をさせる場は少ないが、そこを親の創意と工夫で解決できないものだろうか。我が子が幸福に人生を送るためにも——。

親が子に残し、受けつがせたいもの——それはまさしく親自身の心であり、知恵である。従つて、親は子どもに対し、どんな心を、どんな知恵を残してやるのか。そのために、日常生活で子どもに何をさせるかを充分吟味すべきだろう。そのことが、家風であり、個性を育てることになりはしないかと思うのである。

# いつまでも元気でね おじいちゃん・おばあちゃん

百人のうち六・四人——これは町の人口に占める七〇歳以上の老年寄りの割合です。町では、これまで永年にわたつて社会に貢献してきたこれらのお年寄りの長寿を心からお祝いするとともに、今後とも今日までつちかかってきた知識と経験を社会に役立てていただくこと——9月7日、第一小学校・第二中学校の体育館で敬老会を開きました。

また9月1・2日の両日には、今年で二回目の試みとして、九〇歳以上のお年寄り（二十二人）のお宅を常葉町長が訪問し、健康と長寿を祝い記念品を贈りました。その中で、最高齢者の小林たまさんに町長が長寿の秘けつをたずねると——早起きして庭の草取りや

掃除をし、食事はなんでも好き嫌いなく食べる——と答えていました。

ちなみに、町の七〇歳以上のお年寄りの人口は、富士川地区が七百三十人、松野地区が三百五十九人の計一千八百九十九人（9月1日現在）となっています。

## ◎九〇歳以上の高齢者（敬称略）

- |       |    |      |   |
|-------|----|------|---|
| 小林たま  | 九五 | 小    | 山 |
| 堀河なか  | 九四 | 四十九町 |   |
| 望月こう  | 九三 | 相生町  |   |
| 小林きう  | 〃  | 〃    | 〃 |
| 清 兼次郎 | 〃  | 半在家  |   |
| 斎藤もと  | 九二 | 上    | 町 |
| 滝 しげ  | 〃  | 坂    | 下 |
| 高坂せき  | 〃  | 〃    | 〃 |
| 小永井よね | 〃  | 堺    | 町 |
| 田村なか  | 〃  | 本通り  | 一 |



二年連続の最高齢者です

- |      |    |       |   |
|------|----|-------|---|
| 望月よし | 九二 | 東町一   |   |
| 望月かく | 〃  | 市場    |   |
| 斎藤志ん | 〃  | 中山    |   |
| 佐野まさ | 〃  | 池野三十坂 |   |
| 石川勝治 | 〃  | 道     | 下 |
| 芦川潤治 | 九一 | 東町二   |   |
| 望月春吉 | 九〇 | 上     | 町 |
| 関 ふじ | 〃  | 新町本町  |   |
| 萩野みよ | 〃  | 宮     | 町 |
| 土橋たね | 〃  | 小     | 池 |
| 塩坂しん | 〃  | 本通り三  |   |
| 深沢百蔵 | 〃  | 半在家   |   |



# 星の

あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ

# 資料・東海地震② なせ「駿河湾地震」なのか

東大地震研 恒石幸正

いまでは「東海地震」という呼び方が広く使われていますが「東海沖地震」「遠州灘地震」「駿河湾地震」という別名もあります。駿河湾で地震が起こるかも知れないと、なぜ地震学者たちが考えるようになったのか、その元になる資料を今回は紹介しましょう。

明治26年、過去の津波の記録に関する東京大学総長からの問合せに対し、静岡県知事・小村英太郎氏は、県下二十六カ町村からの報告をまとめて回答しています。この文書は、永く東大地球物理学教室の倉庫で眠っていました。東大地球物理学教室の羽島徳太郎氏が整理し、昭和51年に発表したため、八十三年ぶりに日の目をみることになりました。

調査は、安政東海地震から三十八年後に行われたものですから、確度の高い内容となっています。

安政の津波について、

由比町の石切山純一氏は、次のように報告して

重要な事実は、津波は遠くからやってきたのではなく、駿河湾の奥でも発生したということです。津波は海底の地殻変動によつて起こるものですから、地震をもたらした断層運動が駿河湾の奥でも生じて、西岸の隆起をもたらしたことになる。

# 地震報告 静岡県 其二

地震学教室

# 戸籍の窓

57・8・1(8)31届出

(敬称略)

新町本町	清水	亮佑	正男	二男
小池	角替	貴智	長男	
〃	〃	長澤	俊宏	芳則
東町一	望月	教子	健兒	二女
〃	〃	望月	美沙	正人
東町二	山田	麻実	昌則	長女
上町	太田	篤晃	勝	二女
〃	望月	卓司	賢司	長男
八幡町	稲葉	一平	幹雄	長男
清水町	岩崎	加奈	康秀	長女
川坂	濱田	知美	敏男	長女

## 一里塚



9月に入り、朝晩秋らしい風が吹き始めたが、日中は残暑厳しい毎日が続いている。早いもので、今年も残り四カ月となつてしまつた。ここで一年を振り返るのはまだ早い、今年梅雨が長く、夏らしい気分を味わう間も少なかつた上に、台風や豪雨であちこちに被害が出た。当町でも人家では大きな被害がなかつたものの、富士川鉄橋の流失で自然の怖さをまざまざと知らされた。国一・富士川橋も早く何とかしないと、という切実な気持ちでいっぱいだ。また、町民にとつて大きな関心事であつた町長選があり、常葉町長が無投

区名	氏名	年齢
相生町	亀千晶	六カ月
堺町	渡邊慎之助	八六
宮町	佐藤利夫	六八
東町一	蛭田慎治	一一
南町一	望月すわ	七八
〃	笹林あひ	八一
南町二	望月りん	七三
〃	吉田峯雄	七四
八幡町	栗田喜代次	七一

## 町への寄付金

(敬称略)

十万円	社会福祉事業費へ	富士宮市	高橋	文男
五万円	社会福祉事業費へ	堺町	渡辺	秀男

## 編集後記

8月2日の台風一〇号で、国鉄富士川橋の一部が流失し、二カ月が経過した。現在、復旧作業が急ピッチで進んでいるが、私の手元に一枚の写真がある。それには、流失した部分に廃線の橋脚だけ残っている。これから想像すると下り線の橋脚、同線の橋ゲタ・廃線の橋ゲタ、同線の橋脚の順に流失したのは。

## おかあさんの知恵袋

「訪問販売に関する法律」が昭和51年に制定され、販売行為の強引さ、詐欺的な件数など——トラブルから消費者を守つてくれるようになりましたが、まだ消費者側の知識が十分でないため、最近当町においてもトラブルがあつたようです。

8月23日、老人福祉センターにて、本年度第一回目の「消費生活講座」が開かれ、訪問販売について数々の事例をまじえながらの講師の話に、あらためて反省やら消費者としての自覚の大切さを考えさせられました。セールスマンも生活がかかっている、常識では考えられないあらゆる手段の売り込みで接してきます。私たちはその時の同情的感情とか強引さに負けてしまいがちですが、キツパリと断る勇氣が、後のトラブルから自分自身を守る手段であること強く知っておきたいと思ひます

◎安易な契約は禁物！  
 ◎サインや印鑑は良く考え、契約書を自から読んであとで！  
 ◎その場での契約はなるべくさけて！  
 ◎契約しても全額支払わないで、クーリング・オフの活用する余地を残すよう心掛ける！

## 俳句会

△文協俳句会▽

- 宮町 増井 冬木
- 林間に仮分校や夏に入る
- 明易し体温残る玉子掌に
- 大北町 天野 たま
- 枳酒の枳に杉の香夏まつり
- 形見なる献上博多盆踊り
- 南町 法月 幸子
- 木洩れ陽に一刻の栄え苔の花
- 落城址隠れ噴井に螢飛び
- 南町 影島 智子
- 屋敷田に田螺もどりに親しめり
- 灯されて田風を誘ふ母の盆
- 南町 木伏 八子
- 夏草のはばむ旧道里帰
- 旭町 笠井みち子
- 平穏な日ばかりはなし爪を揉む
- 清水町 宇佐美裕子
- 紫蘇揉んでくつきり長き生命線
- 南町 宇佐美幸子
- レモン汁早出の長子に多く分け
- 南町 田辺つぎ子
- 燈籠に灯の入り一村通り雨
- 南町 上野みつ子
- 天上山に神集るといふ島に夏
- 南町 上野 君江
- 畑仕事すべて終りて夏祭
- 本通り 古木喜久恵
- 朝顔や一番電車に花開く
- 南町 望月 洋子
- ほん降りになりて夏炉の火の盛る

(佐藤)